

# 行政報告

令和2年第5回定例会

## 第7次鹿角市総合計画策定に向けた取り組み 市内宿泊ゴールドプランを販売開始 大湯環状列石の世界文化遺産登録に向けて

令和2年第5回鹿角市議会定例会が9月4日から22日間の会期で開かれました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

### ■新型コロナウイルス感染症対策

首都圏および大都市を中心に、依然として感染拡大が進み、県内でも、クラスターの発生が確認されるなど、新型コロナウイルスの脅威は、本市でも、身近なところまで迫ってきていると危機感を持っています。

引き続き、「県外との往来自粛」や「3密の回避」、「マスクの着用」、「手洗い、咳エチケット」などの注意喚起により感染予防対策を進めながら、観光宿泊業における誘客促進や市内の消費喚起など経済対策に取り組み、感染予防と社会経済活動の両立に努めていきます。

### ■第7次鹿角市総合計画の策定

人口減少が見込まれる中、人口構造の若返りによる持続可能な社会システムの構築を目指し、将来都市像を「ふるさとを誇り未来を拓くまち 鹿角」とした基本構想案についてパブリックコメントを実施し、基本構想案に基づく前期基本計画の施策体系および成果指標の検討を行っています。「かづの未来会議」からは、本市の資源や可能性を活かした取り組みを期待する意見が多く寄せられており、今後、鹿角市人口ビジョンの見直しや、第2期鹿角市まちひと・しごと創生総合戦略についても併せて検討を進めていきます。引き続き、市民の意見を

### ■特別定額給付金

8月17日に申請期限を迎え、対象となる1万2915世帯のうち、辞退者などを除く、1万2873世帯から申請があり、申請率は99.7%となりました。支給総額は、3万1120人分の30億1120万円、人数に対する支給率は99.9%となっています。

### ■鹿角ブランドの推進

高校生が主役となり、ふるさと鹿角の風景や食、歴史などの魅力を発信する「かづの高校生広報室」が、市内2高校の6人のメンバーにより、第4期の活動をスタートさせています。メンバーそれぞれの鹿角に対する深い愛着と、メディアやSNSを活用した高校生ならではの感性を生かした情報発信力に、大いに期待しています。若い世代の興味・関心を集められるよう、活動をサポートしていきます。

### ■子育て支援

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策である臨時特別給付金として、児童一人につき1万円を給付する国の「子育て世帯への臨時特別給付金」と、1世帯につき1万円を給付する市

### ■鹿角花輪駅前整備事業

全ての整備工事が完了し、供用を開始していますが、歩行空間を充実させ、通行の安全性を確保したほか、段差や障害物を無くして、花輪ばやしなどの開催に配慮し、賑わいを生み出す空間へとリニューアルしました。多くの方々からご利用いただき、本市の玄関口として愛される駅前広場となることを願っています。

### ■大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に向けて

9月4日から15日にかけて、ユネスコの諮問機関である国際記念物遺跡会議・イコモスによる現地調査が行われ、大湯環状列石では、6日に調査が行われました。これまで、縄文遺跡群世界遺産登録推進本部を中心として、文化庁および4道県の関係自治体と共に、現地調査に向けて、総力をあげて準備を進めてきましたので、世界遺産にふさわしいとの評価を得られるよう、万全を期して対応しました。

総務課 行政班 ☎30・0203



行政報告を行う児玉市長



北限の桃贈呈式



シントップウユリ



整備工事が完了した鹿角花輪駅前広場



大湯環状列石のイコモスによる現地調査

の「子育て応援給付金」について、公務員を除く一般支給対象者1604人への給付が完了しました。また、国の「ひとり親世帯臨時特別給付金」を、受給対象者221人に、1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円を給付しました。

### ■農産物の販売促進

桃は8月中旬に始まった「あかつき」に続き、主力品種の「川中島白桃」の収穫・出荷が始まりました。今年は、着果数が例年と比べるとやや多く、果実も順調に肥大し、糖度も良好です。本市が誇る「かづの北限の桃」の美味しさを市場関係者などに、より強くPRしていきます。

本市の新たなブランド産品に位置付けているシントップウユリ

### ■鳥獣被害防止対策

クマの出没や被害報告は、7月中旬までは、例年より少なくな推移していたものの、7月下旬以降から急激に増加し、特に、花輪市街地の東側の住宅地での出没が多く、花輪中学校周辺では、日中の目撃が相次ぎました。十和田高原地区では、畜産への被害が連続して発生しています。さらに、8月末には、高校生が襲われる痛ましい人身事故が発生しました。

### ■観光応援事業を積極的に展開

大きく落ち込んだ観光産業を支援するため、北東北3県の在住者を対象とした、最大1万円引きの宿泊プラン「プラチナプラン」を、6月29日より販売しましたが、予定していた1万石分が5日間で完売し、宿泊者数は、昨年同期と比較し、7割程度まで回復しています。さらに、9月1日から、東北6県在住者を対象に、3千円の助成で、地域の特産品なども楽しむことができる宿泊プラン「ゴールドプラン」の販売を開始しています。また、オンラインでガイド付の観光と市の特産品を楽しむことができる体験型オンライン観光商品を、地域DMOで販売し、参加者とのリモート交流を行っています。引き続き、観光産業への影響を最小限に抑えられるよう取り組んでいきます。

### ■コロナ禍の経済・雇用対策

8月31日現在、コロナ対応資金の借入に対する利子補給助成が119件、地域雇用維持支援金14件、事業継続支援金167件の申請を受け付け、緊急事態宣言の発出などで経済活動が大幅に制限されたことによる影響に、迅速に対応しています。また、需要回復を図る対策として、大手ECショッピングモール内の地域産品販売サイトの構築やプレミアム付き商品券・飲食券の販売を実施しており、引き続き、市内経済の動向を注視しながら、利用促進と消費喚起に努めます。